

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7320 海外投資論			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜1限				
教室	E101教室				
代表教員	加藤 巖				
担当教員	加藤 巖				
テーマと到達目標	<p>経済活動のグローバル化が進む中、企業や金融機関ばかりでなく、公的機関や個人の海外投資も活発化している。とくに近年は、投資環境も整いつつある。また、高校で投資の授業が始まるなど、投資に関する社会的な意識も変化してきた。これから社会に巣立っていく受講者に将来の海外投資の実践に備えることを念頭に、海外投資の基礎理論を学んでもらいたい。正しい理論を学ぶことで長期安定的な海外投資を行なう能力を磨いていく。</p>				
概要	<p>授業は以下のように進行する。授業の最初に、現代に生きる若い世代が「なぜ海外投資論を学ぶ必要があるのか」について解説する。すなわち、少子高齢化が進む中で国内市場だけでなく、海外市場の成長へも目を向ける必要があることを各種のデータを用いて示す。その上で（授業中盤になると）海外投資を活用した企業および個人の生き残り戦略について考える。授業内では過去の海外投資の成功例と失敗例を数多く紹介する。多くの事例を比較対照することで基礎的な海外投資理論を身に付けていく。授業の終盤には、正しい理論の有用性を理解し実践活動に備えることを目指す。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	授業オリエンテーション			加藤 巖	対面授業
第2回	「なぜ若い世代が海外投資論を学ぶ必要があるのか」、その意義について考える。			加藤 巖	対面授業
第3回	身近な経済的リスクを知り、その回避行動として海外投資の重要性を認識する。			加藤 巖	対面授業
第4回	企業の資金調達手段としての株式発行について学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第5回	金融市場における政府の資金調達手段としての債券発行について学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第6回	海外投資においては「投資対象の分散」が重要であることを学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第7回	海外投資においては「地域の分散」が重要であることを学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第8回	海外投資においては「時間の分散」が重要であることを学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第9回	世界の株式市場と債券市場の成り立ち（歴史）を学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第10回	過去の事例から、海外投資とはどのような基準で行なわれてきたのかを学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第11回	過去の事例から、海外投資のリスクを引き下げる有効な手法について学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第12回	海外投資のコストとその見返りであるリターンの関係について学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第13回	最近の政府系投資ファンドの活動の様子を学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第14回	海外投資の持つ可能性と将来の発展について概観する。			加藤 巖	対面授業
第15回	授業の振り返りとまとめ			加藤 巖	対面授業
成績評価の基準	講義への積極的な参加と期末試験の結果を総合的に判断して成績評価を行う。随時小テストも行い、その点数も成績評価に加味する。				
履修にあたっての留意事項	<p>(1) 授業の連絡事項は掲示板、和光ポータル、和光Gメールなどで行う。(2) 資料配布は印刷物の配布ないしは和光ポータルの&lt;授業資料&gt;機能を使う。(3) 対面授業を予定しているが、もし、オンライン授業に移行した場合には、同時双方向型授業等（Zoomなどと和光ポータルを併用）とする。(4) 課題学習については授業期間中に指示する。</p>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	和光ポータルの使い方を習熟しておくこと。資料配布などは和光ポータルを通じて行うことがある。		
教科書	指定教科書はない。適時、レジュメおよび資料等を配布する。	教科書(ISBN)	
参考文献	ジェレミー・シーゲル 『株式投資の未来』 日経BP社 バートン・マルキール 『ウォール街のランダム・ウォーカー』 日本経済新聞出版社 トマス・J・スタンリー、ウィリアム・D・ダンコ 『となりの億万長者』 早川書房	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	<p>本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください  <a href="https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html">https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html</a>                      合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること</p>
--------------------	---